

駿府の今川氏

5/8 今川氏全盛時代を築いた今川義元
(水) 13:30~15:30

5/22 今川氏の本拠地今川館を探る
(水) 13:30~15:30

6/12 戦国三大文化の一つ今川文化とは
(水) 13:30~15:30

6/26 今川氏から徳川氏に引き継がれたもの
(水) 13:30~15:30

対象...どなたでも120人

会費...1人 2,500円(4回分)

会場...葵生涯学習センター1階 ホール

申込...往復ハガキ、またはHPからお申込みください。

4/19(金)必着(多数抽選) 詳しくは裏面をご覧ください。



講師：小和田哲男氏

静岡大学名誉教授

戦国大名・今川氏のお膝元で、徳川家康の
隠居先でもあった静岡市で1944年に生まれ
る。72年、早稲田大学大学院文学研究科博
士課程修了。専門は日本中世史。戦国時代
史研究の第一人者として知られ、NHK大河
ドラマ「どうする家康」の時代考証を務め
る、歴史番組でおなじみの顔。趣味は「城
めぐり」で、公益財団法人日本城郭協会
の理事長も務める。

(全4回)

申込・お問合せ先

静岡市葵生涯学習センター(アイセル21)

住所 〒420-0865静岡市葵区東草深町3-18

電話 054-246-6191



◆各回詳細◆

第一回 「今川氏全盛時代を築いた今川義元」

戦国大名今川氏の初代に数えられる今川氏親の子で3代目に当たる義元のとて、今川氏は全盛期を迎えます。2代目で兄氏輝死後の家督争い「花倉の乱」を経て当主の座につくと、巧みな外交戦略を駆使して「甲相駿三国同盟」を結び、版図を最大のものとしす。

第二回 「今川氏の本拠地今川館を探る」

戦国大名今川氏の本拠地としたのが駿府今川館でした。城ではなく館を本拠としていたのです。足利氏から吉良氏が生まれ、吉良氏から今川氏が生まれたことから明らかなように、今川氏は京都の将軍を意識していました。そのため、京都の将軍邸と同じような館を築き、そこを本拠としたわけです。しかし、それがどこにあったのか長いこと謎のままでした。ところが、昭和57年(1982)、当時の駿府公園の発掘現場から今川館の一部らしきものが遺構として見つかりました。今川館とはどのようなものだったのかについてお話しす。

第三回 「戦国三大文化の一つ今川文化とは」

戦国三大文化といういい方があります。数ある戦国大名の中で、特に文化面に力を入れた大名の文化のことです。周防山口の大内文化、越前一乗谷の朝倉文化、そして駿河府中の今川文化です。それぞれの文化の特徴と、特に今川文化の特筆される部分をくわしく見ていきます。京都風公家文化(王朝文化)としての側面と、禅宗文化、そして、家臣団の結合を強める「輪の文化」も注目されるどころです。

第四回 「今川氏から徳川氏に引き継がれたもの」

周知の通り、徳川家康は少年時代、8歳から19歳まで今川義元の「人質」として駿府で生活していました。家康がその後、天下人として君臨することになる素地はこの今川義元「人質」時代に培われていました。家康が大御所になって駿府城に入ったあと、駿府で家康は駿河版という本を印刷させていますが、これは、今川義元が駿河版を出させていたことを真似たものです。文治政治、法治国家づくりも今川氏のやり方を踏襲しています。

※都合により変更になる場合があります。

◆申込方法◆

- 往復はがき…往信欄に①講座名②お名前③住所④電話番号⑤年齢、返信欄に返信用のあて先をご記入いただき、葵生涯学習センター(〒420-0865静岡市葵区東草深町3-18)までお送りください(往復はがき一枚につきお一人様までの申込となります)。
- HP…生涯学習センターHP(<https://sgc.shizuokacity.jp/>)の講座ページ内にある「この講座に申し込む」ボタンをクリック、必要事項を入力してお申し込みください(同じアドレスでの複数人のお申込はご遠慮ください)。

申込〆切：4/19(金)必着、多数抽選

◆アクセス◆



バス(JR静岡駅北口) 10番のりば
県立病院高松線「アイセル21」下車
駿府浪漫バス「アイセル21」下車
徒歩

JR静岡駅より約30分
静鉄新静岡駅より約20分

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関での
ご来館にご協力ください